

高谷光信プロデュース

# フジコ・ヘミング

## ニューイヤー・コンサート

新年の幕開けは魂の音色と共に…

### Program

- J.シュトラウスII / トリッチ・トラッチ・ポルカ
- チャイコフスキー / バレエ組曲「眠れる森の美女」よりワルツ
- ショパン / ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9-2
- ショパン / エチュード 変イ長調 Op.25-1「エオリアンハーブ」
- リスト / ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 S.244
- チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より  
トレパック、花のワルツ
- ショパン / ピアノ協奏曲 第1番より 第2楽章
- モーツァルト / ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 ほか

# Fujiko Hemming

NEW YEAR  
CONCERT

Mitsunobu Takaya produce

ピアノ  
フジコ・ヘミング

管弦楽 セントラル愛知交響楽団

指揮  
高谷 光信

2022 1.7 金 18:30開演 [17:45開場]

刈谷市総合文化センター 大ホール 全指定席・税込 8,000円

[主催・お問合せ] クラシック名古屋 052-678-5310

アイ・チケット 0570-00-5310  アイ・チケット

刈谷市総合文化センター窓口 10時~21時 ※電話受付はありません。

プレイガイド 刈谷市総合文化センターHP <https://kariya.hall-info.jp/> ※ネット会員の登録が必要です。(無料)

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード:207-154) ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:41332)

芸文プレイガイド 052-972-0430

2021年  
11月26日(金)  
10:00~  
一般発売開始

※未就学児のご入場はお断りいたします。※会場内では必ずマスクの着用(不織布マスク推奨)をお願いいたします。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順などが変更になる場合がございます。その場合もチケットの払い戻しは承れません。ご了承ください。※車椅子席でご来場されるお客様はご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。

## ごあいさつ

2017年10月、在ウクライナ日本大使館のご紹介をきっかけにピアニストフジコ・ヘミングさんと私の素晴らしい出会いが叶いました。そして、私が常任指揮者を務めているウクライナ・チェルニーゴフフィルと3年連続で共演させていただきました。現地ではテレビや新聞でも大きく取り上げられ、フジコさんの演奏に魅了されたお客様のスタンディングオベーションがいつまでもいつまでも鳴り止まなかったあの光景を忘れることはありません。その後フジコさんから「是非日本でも共演いたしましょう」と仰っていただき、昨年、満を持して日本での初共演となりました。あの素晴らしい感動を再び刈谷市総合文化センターにて皆様にお届けできることは最高の喜びです。新年の幕開けは、世界を魅了する魂のピアニストフジコ・ヘミングさんの音楽と共に…多くの皆様にお越しいただければ幸いです。

高谷 光信




## ピアノ フジコ・ヘミング

Piano **Fuzjko Hemming**

スウェーデン人画家・建築家の父と、日本人ピアニストの母の間にベルリンで生まれる。母の手ほどきでピアノを始め、10歳でレオニード・クロイツァーに師事。クロイツァーは「彼女はいまに世界中の人々を感激させるピアニストになるだろう」と予言をしていた。東京藝大を経て、文化放送音楽賞・NHK毎日コンクール受賞、その後、ベルリン高等音楽学校に1位で入学、その後、ウィーンでパウル・パドゥラ＝スコダに師事。ブルーノ・マデルナ、レナード・バーンスタイン、チェルカウスキー、マガロフ等多くのクラシック界の権威にその才能を認められて支持を獲得し、コンサートを行っていたが、聴力を失うアクシデントに遭遇。1999年、リサイタルとNHKのドキュメント番組が大反響を呼び、デビューCD「奇蹟のカンパネラ」他をリリース。クラシック界異例の売上で、日本ゴールド・ディスク大賞、クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを4回受賞した。モスクワ・フィル、ロイヤル・フィルなど世界各地の著名オーケストラと共演。彼女と共演したミッシェル・マイスキーは「あなたの芸術を賞賛します」と形容している他、共演した多くのアーティスト達が絶賛している。毎年多くのチャリティ・コンサートを行っている他、大の動物愛護者であり、ドイツは彼女の名を冠した動物保護団体も出来ている。

## 管弦楽 セントラル愛知交響楽団

Orchestra **Central Aichi Symphony Orchestra**

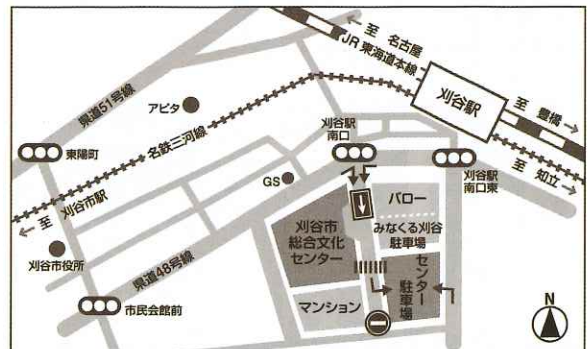
1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演をはじめ、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

## 指揮 高谷 光信

Conductor **Mitsunobu Takaya**

東京混声合唱団指揮者。ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団常任指揮者。ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、Vブラソフ、故E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ』『ウクライナ国際バルトケーヴィツ音楽祭』に出演。現在までに東京混声合唱団、ウクライナ国立リヴィウフィルハーモニー、ウクライナ国立ドゥムカ合声合唱団、ウクライナチェルニーゴフ州立室内合唱団、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、テレマン室内オーケストラ、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラなどを指揮。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学芸術学部・武庫川女子大学音楽学部、各非常勤講師。第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。2012年ウクライナチェルニーゴフ州文化功労賞受賞。2019年チェルニーゴフ州行政長文化功労感謝状受彰。

2017、18、19年ウクライナ、2020年日本においてフジコ・ヘミングと共演を重ねる。



### 【会場のご案内】 刈谷市総合文化センター

JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分  
伊勢湾岸自動車道豊明ICより約20分・豊田南ICより約25分

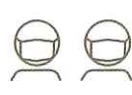
皆様へのおお願い



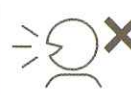
入場時のマスク着用、検温、手指の消毒にご協力ください。



発熱など体調のすぐれない方のご来場はお控えください。



客席内ではマスクを着用し、会話をお控え、自席で静かにお過ごしください。



「ブラボー」等の掛け声はご遠慮ください。